

県内の企業や 産業を元気にする お手伝い



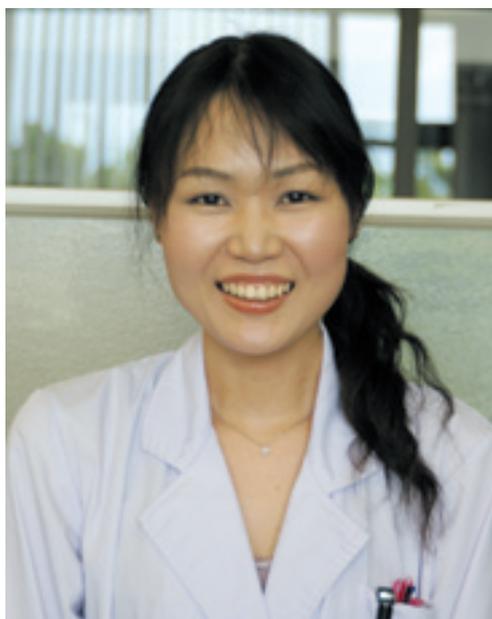
徳島県立工業技術センター
食品技術課 研究員

宮崎 絵梨 みやざき えり

県立工業技術センターでは、工業系だけでなく農林水産業や特産品の開発のための実験や研究、また相談や指導、セミナーの開催など幅広い分野で、県内の商工業を支援しています。

宮崎さんはここで農産物の加工や利用に関する研究をしています。「食料、特に農産物の多くを輸入に頼っている日本では今後大事な分野です。徳島の豊富な農産物を地域の資源としてどう生かせるか。また不要物として出てくるものを何とか利用できないか、といった依頼もあります」

宮崎さんが現在取り組んでいるもののひとつに阿波番茶があります。ご存じのように、阿波番茶は番茶という名前ながら、ゆでた茶葉を発酵させて作られる全国でも珍しい日本茶です。この茶葉をゆでた後捨てられている煮汁と、発酵の際に働く乳酸菌の有効利用が研究の課題です。



これらの他の加工物への応用のひとつとして、徳島の野菜を使ったたくさん生産されている漬物への利用を試みています。

「煮汁には最近よく聞くカテキンという成分が多く含まれています。このカテキンには消臭効果もありますから、古漬独特の臭いをやわらげられないかと考えました。乳酸菌は発酵を早めたり、風味を良

くする効果も期待されま

現在、試行錯誤で研究を進めています。阿波番茶を活用した漬

物が徳島の新しいブランドとなるかもしれないね。

学生時代は良い友だちに恵まれたと語る宮崎さん。

「徳島生まれなので下宿の経験がありません。県外から来ている人の下宿を泊まりに回ったり、一緒に旅行をしたり、私にとってはそういう友だちとのつきあいが視野を大きくしてくれる大切なものでした。研究室に配属されてからは先輩後輩にも恵まれて、さらに成長できたと思います」

今でも当時の友だちとは、お互いの時間を調整して集まったりは小旅行を楽しんでいるそうです。そんな宮崎さんからのメッセージです。

「勉強ももちろん大切ですが、良い友だちを作ることも同じくらい大切なことだと思いますので、学生生活を通じて良い人間関係を築

いてほしいですね」



プロフィール

- 徳島市生まれ
- 2002年 工学部生物工学科卒業
- 2004年 同大学院修了
- 2004年 徳島県保健環境センター(公害検査員)
- 2005年 徳島県立工業技術センター

